

＜冬休みを前に＞

皆さんに質問です。「秋保中学校で良かったですか？」

来年の新入生の数がほぼ確定し、秋保中学校はこの2年間で生徒数が25%以上減少します。中には別の学校に行きたかったのに仕方なく秋保中学校に入学してくる人もいると聞いています。通学して、卒業して良かったと思える学校。皆さんと一緒に先生方が目指していることです。学校は生徒を育てる場です。良い学校かどうか、答えは今、目の前に並んでいる皆さんです。社会でしっかり勝負できるようにすることです。

人には「頭、心、体」の側面があります。「頭を鍛える」先生達はお互いに授業を見合いながら「皆さんをボーッとさせない。考える授業」を目指しています。家庭学習でも学習ノートの新しいまとめ方を取り入れました。校舎を回っていると授業に熱心に取り組んでいる皆さんの様子が伝わってきます。「心を育てる」ボランティアをはじめ多くの人々が人のために何かしようとする姿があります。SNSを使った誹謗中傷などのいじめ行為は見られていません。自分たちで決めた「スマホルール」を意識している人が多いからだと思います。「体を作る」歯科講話などを通じて歯の衛生管理に努めている人が多いのもこの秋保中学校です。虫歯ゼロでたくさんの人が表彰を受けました。

伝統文化や地域おこしなど秋保中ならではの取組もたくさんあります。「キセキのたびぷりん」これも皆さんの成果です。丸森のために何かしたいというgiveの気持ちが形になりました。アンケートを通して、丸森のために何ができるか、何を大切にしたいかを真剣に考えたからこそ、いろいろな人達の心を動かしました。アンケートの内容などで学年から推薦してもらった4人の人達には商品開発やキャンペーンに参加してもらいました。商品を開発するときには大事なのがターゲットです。商品企画会議ではペルソナという架空の人物をイメージし、その人だったらこういう行動をするだろうと想定しながら商品を考えていきます。たびぷりんのペルソナは、サックスが吹ける、食べ歩きの大好きな、ショートヘアの17歳高校生「橋本あまね」です。また、その商品にインパクトを与えるためのキャッチコピー、タグラインも教わりました。たとえば「はやい、うまい、やすい」は何でしょう。「百人乗っても大丈夫」は何でしょう。「たびぷりん」は「新食感！小さなキセキ」です。繁華街での募金活動をしたときも温かい人の心にたくさん触れることができました。キセキはさらに続きそうです。今、商品開発の第2弾が進んでいます。

部活動についても新しい動きが出てきています。9月に新入生のおおよその人数が分かり、職員会議で部活動の数をどうするか話し合いました。バスケ部とバレー部の新規募集をしないという案が出て、関係する1年生の2人と保護者に話し合いを進めることを伝えました。その後1学期末のPTA全体会で保護者の意見を聞き、11月には6年生に担任の先生から説明してもらい意見を聞いてもらいました。すると合同チームになってもバスケやバレーをしたいという意見が出てきました。今、正式なアンケートを取っています。6年生は中学校の部活の様子も中総体も知りません。単独チームが組めない場合、近隣の学校にお願いし、合同チームで中総体等の大会に参加させてもらうことになります。平日は秋保中学校で練習し、休日は合同練習ができるよう調整していきます。しかし、チームプレーやサインプレーについては十分な練習ができない可能性も考えられます。そのため、大会では出場の機会が限られてしまうかもしれません。中学生にとって部活動は、学校生活において大切な活動の一つです。そのため、普段の練習を大切に、大会が一番の目的ではなく、少人数でも楽しく笑顔で毎日活動ができるようにしていかなければなりません。部活動でも「秋保中学校で良かった」と思えるように卒業生も含め皆さんの協力が必要になります。

明日から始まる冬休み、特に3年生は受験に向けて日々自分との戦いになるかと思います。培ってきた秋中魂でしっかり勝負を仕掛けてください。今発表してくれた4人と同じように、新しい年を迎える節目を大切に、自分にとって何が大切か、何が足りないかを考える機会にして、将来に向けてさらに一歩踏み出すチャンスにしてほしいと思います。

寒さによる道路の凍結やインフルエンザが心配される季節でもありますので、健康と安全に十分気を付けて元気に新年を迎えてほしいと思います。